

## Arts Towada 十周年記念「インター + プレイ」展 第1期 — 遊ぶ、演じる、こだまする アートがつなぐ人とまち —

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となっていた展覧会「インター+プレイ」展の第1期を会期を変更して開催しています。

全3期を通した展示として、身近なものをモチーフに五感を刺激する作品をつくる鈴木康広さんが、ベンチにもなる大型の野外彫刻を制作。引力を持ち、そのパワーが外側へと広がっていく十和田の姿を表現します。また、近年芸術祭や大規模個展で注目を集めている目 [mé] の皆さんは、まちなかの建物に真っ白なギャラリー空間を唐突に出現させます。

美術館内では第1期として、鏡とビデオカメラとプロジェクターを使い見る人の感覚を攪乱する津田道子さんのインスタレーション、音に身を委ね溶け込んでいく感覚をもたらすエバラさんの作品、十和田での滞在調査を踏まえ〈赤〉をテーマに制作される松原慈さんの新作を展示します。

- 会期 (第1期) 開催中～令和3年8月29日(日)  
開館時間 午前9時～午後5時 (入場は閉館の30分前まで)  
休館日 月曜日 (祝日の場合はその翌日)  
※令和2年8月3日(月)、10日(月)は臨時開館します。  
観覧料 企画展 + 常設展セット券 1,200円  
企画展の個別チケットは一般800円  
※高校生以下は無料です。

### 8月10日(月)は現代美術館常設展示市民無料デー

マイナンバーカード、免許証や保険証など住所が確認できるものを受付に提示ください。

### 新型コロナウイルス感染防止対策とお願い

- 入館の際は必ずマスクの着用と館内に設置している消毒液での手指消毒をお願いします。
- 発熱、咳など風邪のような症状がある場合、高齢の人や基礎疾患のある人で感染リスクを心配する場合は、来館をお控えください。
- 6人以上での来館を希望する場合は事前にお問い合わせください。
- 展示室内の混雑を緩和するため、入場制限を行う場合があります。



鈴木康広 《はじめりの果実》  
撮影：小山田 邦哉



津田道子 《あなたは、翌日私に会いにそこに戻ってくるでしょう。》  
撮影：小山田 邦哉



松原慈 《真実 / 自由》  
撮影：小山田 邦哉

## 十和田市を舞台に映画が撮影されます /

平成29年に公開の「花戦さ」で、第41回日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞した篠原哲雄監督が、十和田市を舞台にした映画を撮影します。

この映画は「学生と動物の触れ合い」がテーマで、北里大学が撮影に協力し、8月に2週間ほど本市での撮影が予定されています。

どのような映画が製作されるのか、楽しみにお待ちください。



### 【監督】篠原 哲雄さん

1962年東京都出身。93年「草の上の仕事」が神戸国際インディペンデント映画祭でグランプリを受賞し監督デビュー。96年「月とキャベツ」が初の劇場用長編作品。2017年に公開の「花戦さ」で第41回日本アカデミー賞優秀作品賞と優秀監督賞を受賞。2019年「影踏み」公開。2020年7月「癒しのころみ～自分を好きになる方法～」公開。